

国際協力の魅力をマニアから
画面越しに語る三村客員教授

只見の日本酒 香港に

100%町産米大吟醸 海外販路拡大へ

只見町の酒類製造会社「ねっか」が輸出用の日本酒を完成させ、香港への輸出に向けて今月22日に出荷した。代表社員の脇坂斉弘(なりひろ)さん(47)は「100%只見産米にこだわりのつづ、ワインなどの香り高いお酒が好みの外国人に合わせる、華やかな香りに仕上げることができた」と手応えを語る。今後、新商品の開発も進め、海外の販路拡大を図っていききたい考えだ。

同社の看板商品は、只見産米だけでつくる香り高い焼酎「ねっか」だ。国際コンクールで金賞を何度も受



輸出用の日本酒「雪龍」が完成し、「やっと本格的な海外挑戦ができる」と喜ぶ脇坂さん(15日、只見町の「ねっか」)

いた。いかに...かたがた...と...
ていた。

い。海外に本格進出するタイミングを探っていたところ、輸出限定の日本酒製造免許制度が創設されたため、今年4月に申請、5月に全国で初めて交付を受けた。

早速、香港向けの新ブランド「流觴」を東京の酒類輸出会社などと共に設立。第1弾の商品として、冬季限定の大吟醸生酒「雪龍(Snow Dragon)」が今月中旬に完成した。雪深い只見町と、只見川の竜神伝説にちなみ、香港でもなじみやすい名称にした。

また、雪龍のもろみを蒸留させ、新たな本格焼酎も開発した。脇坂さんは「日本酒が好きな外国人に、飲み比べをしてもらって、焼

完成したヒザやつまみを試食する参加者(20日、大熊町で)

酎の良さも知ってもらいたい」と狙いを明かす。

商品は12月上旬に香港に到着する予定だ。日本酒と焼酎をセットにし、この冬は500セット限定で販売する。今後、通年輸出できる日本酒なども開発していくという。脇坂さんは「米国などにも販路を広げ、いずれば年間1万本を輸出できるように頑張りたい」と意気込んでいる。

10月景気判断

日銀概況 個人消費

日本銀行福島支店は10月の金融経済概況を発表した。新型コロナウイルスの影響が大きい外食や宿泊、観光などに持ち直しの動きが見られるとして、「個人消費」を11か月ぶりに上方修正した。県内の景気判断については、「感染症や半導体不足の影響から、持ち直しの動きが鈍化してい

福 1の 葬祭 七中 石 田 菅谷 (責